



岡山県金融経済月報 (2022年7月)

1. 概況

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、徐々に持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、増加している。公共投資は、高めの水準で推移している。輸出は、増加している。

こうしたなか、県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

雇用・所得環境をみると、労働需給は緩やかに改善しており、雇用者所得には改善の動きがみられる。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、徐々に持ち直している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車販売は、供給制約の影響から足踏み状態が続いている。家電販売は、底堅い動きとなっている。この間、主要観光地への入り込みは、低水準ながら持ち直している。

設備投資は、増加している。

6月短観調査における県内企業の設備投資額（全産業）は、2021年度は減少した一方、2022年度は増加計画となっている。

住宅投資は、増加している。

公共投資は、高めの水準で推移している。

輸出は、増加している。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、緩やかに持ち直している。

業 種	足もとの生産動向
自動車	供給制約の影響から弱めの動きとなっている。
鉄 鋼	横ばい圏内の動きとなっている。
化 学	大規模定期修理の影響などから水準は低下している。
石油・石炭	高めの水準となっている。
造 船	緩やかに持ち直している。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	高操業となっている。
窯業・土石	高めの水準となっている。
農 機 具	操業度は上昇している。
工作機械	緩やかに持ち直している。

(3) 雇用・所得

労働需給は、引き締まった状態が続いており、感染症の影響を残しつつも、緩やかに改善している。雇用者所得には、改善の動きがみられる。

(4) 物価

5月の消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。

(5) 倒産

5月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

3. 金融（5月分）

県内実質預金は、前年を上回った。県内貸出は、前年を上回った。貸出約定平均金利（総平均）は、新規実行ベース、ストックベースともに前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒700-8707 岡山市北区丸の内 1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 TEL086-227-5111(代表)
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知るほど岡山はこちら!!



100th anniversary



出典 広報誌にちさん 2014年秋号(表紙) 北村公昭氏